

四万十川の再生と保全に関する調査特別委員会報告書

会 議 日 時	平成 2 4 年 7 月 30 日～8 月 1 日（月～水） 7 時 0 0 分 ～ 1 7 時 3 0 分			
会 議 場 所	○議員控室 ○委員会室 ●豊田市・岐阜市 ○現 地 ○東別館			
出 席 者 数	委員 8 人のうち出席者 7 人			
出 席 委 員	委 員 長	橋 本 保	委 員	林 健 三
	副委員長	山 岡 義 正	委 員	津 野 吉 得
	委 員	岩 井 優之介	委 員	槇 野 章
	委 員	堀 本 伸 一		
欠 席 委 員	委 員	森 健 吉		
事 務 局	事務局	田 辺 卓		
説 明 者	矢作川漁業 協同組合長	木戸規詞	矢作川研究 所副所長	宮田昌和
	長良川漁協 正副組合長	玉田和浩・大橋亮一 山中 茂		
傍 聴 者				
付 議 事 件	1．矢作川研究所立上げまでの経緯			
	2．長良川の河川環境について			
	※ 詳細は別紙参照			
審 査 ・ 調 査	1．矢作川研究所立ち上げまでの経緯			
	平成 3 年 9 月、豊田市が河川環境改善に向けヨーロッパへ調査団を派遣			
	当時の時代背景、河川行政を環境重視型へ転換、矢作川はヘドロの垂れ流しにより			
	内水面の漁業は窮地に追い詰められていた。このような背景の中で漁業組合・土地			
	改良区・行政が第 3 セクター方式で平成 6 年矢作川研究所を立ち上げた。			
	2．長良川の河川環境について			
反 対 意 見	全国的な傾向の組合員の減少、カワウ被害・アユ冷水病などで漁獲高の減少がある。 河川環境改善対策として、種苗放流・アユの産卵場造成・アユの人工孵化・カワウ 対策・漁協を中心とした植樹活動などに取り組んでいる。			
	なし			
報 告 日	平成 2 4 年 8 月 9 日（木）		委 員 長 署 名	橋 本 保